

平成28年度 西東京市立 明保中学校 学校自己評価表

学校教育目標

平和で民主的な社会の形成者として、真理を求め、自主的精神に満ちた人を育成するために、次の目標を定める。  
すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ・落ち着いた教育環境の中で、一人一人の個性や能力を伸ばすことができる学校
- 【目指す児童・生徒像】 ・相互に人権を尊重し、支え合う人間関係を目指す生徒
- 【目指す教師像】 ・深い愛情をもって、生徒の心身の成長発達を促進し、支援する教師

評価の観点  
 評価は適切に行われている……………A  
 評価はほぼ適切に行われている………B  
 評価はどちらともいえない……………C  
 評価はあまり適切に行われていない…D  
 評価は不適切である……………E

前年度までの学校経営上の成果と課題

- ・学力調査の結果でも国や都・市の平均を上回っているが、基礎学力不足の生徒も多い。
- ・基本的生活習慣が身につけているが、自主的な活動が苦手な生徒が多い。

|          | 具体的方策   | 第 1 回  |      |   |        | 第 2 回 |   |   |   |
|----------|---|--------|------|---|--------|-------|---|---|---|
|          |   | 学校自己評価 |      | 学校関係者評価   | 学校自己評価 |       | 学校関係者評価   |   |   |
|          |   | 努力目標   | 成果目標 |   | 努力目標   | 成果目標  |   |   |   |
| 確かな学力の向上 | 土曜学習教室を、年間7回以上開催する。また、英検受験講座を2講座年間10回以上開設する。                        |        |      | 11月現在で土曜学習教室は1学期2回、2学期3回を実施。英検定受験講座は1回目4回、2回目4回を実施済み。   | A      | 5     | 土曜学習教室は1月期2回、2学期3回、3学期2回、年間7回実施実施。参加の生徒はのべ88名でやや少ない。今後は参加者を増やすことが課題であるが、あまり多人数であると効果がないので現在の1.5倍程度の人数が理想的。英語講座は予定10回に対して12回と予定以上に開催できた。 | A   |   |
|          | 英検受験者をのべ人数150人、また、漢字検定を年3回校内実施し、のべ人数200名、数学検定を校内実施し、のべ人数50名以上参加させる。 |        |      | 11月現在英検、漢検、数研ともに2回の実施済み。受験者は、英検150名、数研11名、漢検103名。英検は既に目標受験者に達成。漢検と数研は目標受験者数には達することは難しい状況。3学期の第3回実施で担当教科からの呼びかけで受験者を増やす予定である。  | A      | 3     | 英検受験者はほぼ目標値を達成できたが、漢字検定や数学検定は受験者が下回った。特に数学検定は受験者確保が難しい。英検は、受験講座も行い、受験への対策が学校として実施された成果もあったものと考えられるので、来年度も引き続き実施する予定である。                 | C   |   |
|          | ユニバーサルされた全ての生徒にわかりやすい授業を行う。   | 5      | 5    | 1学期授業アンケートで肯定的回答が、国語93.0%、社会93.3%、数学93.1%、理科83.0%、英語95.8%、音楽100%、美術95.5%、保健体育男子95.0%、保健体育女子100%、技術98.3%、家庭科94.3%、全体で95.9%となった。ほぼ達成できているが、肯定的回答で「分かりやすい」との回答は学年や教科によって差が見られる。さらに指導の改善が必要である。   | A      | 5     | 5   | 2学期授業アンケートで肯定的回答が、国語96.6%、社会94.4%、数学80.7%、理科100%、英語98.3%、音楽100%、美術95.5%、保健体育男子97.6%、保健体育女子100%、技術100%、家庭科97.7%で全体は96.4%。目標は達成できているが、集計締め切りの関係でデータが一部欠けているのが問題である。教員のユニバーサルデザインされた授業への指導意識は高                               | A |
|          | 習得、活用、探究というプロセスの中で自分の考えをまとめられる。                                     | 5      | 3    | 1学期授業アンケート肯定的回答が、国語77.7%、社会75.5%、数学78.6%、理科96.6%、英語79.8%、音楽65.2%、美術78.9%、保健体育男子83.5%、保健体育女子65.8%、技術78.3%、家庭科64.9%、全体で76.8%となった。教科の特性によって「考えをまとめる」という単元や題材があるかなどにより異なるが、思考・判断、表現したことが言語化されることは重要な資質・能力として各教科の特性に応じて育成をしなければならないと考える。 | B      | 5     | 3   | 前期同様に教師の指導は概ね行われているが、目標成果には至っていない。生徒アンケートでは国語75.2%、社会77.8%、数学73.6%、理科81.4%、英語76.3%、音楽74.1%、美術76.2%、保健体育男子79.8%、保健体育女子82.7%、技術74.4%、家庭科73.9%、全体で76.9%。前期と変わらない結果を受け、授業の特性を生かした考えのまとめ方を工夫・改善をすすめていく。                        | A |
|          | 学力の基本となる言語能力・読解力等の向上を図るため読書活動を推進し一人12冊以上読ませる。                       | 3      |      | 11月現在、12冊以上は17.3%、反対に1冊以下は7.3%である。10冊以上でも半数以下の状況。学年が上がるにつれて読書場慣れが進んでいる現状がある。今後は全校朝読書を朝の10分で実施しての(150回実施)担任を中心とした読書推進が必要。また、学校司書と図書委員会による「読書会」の開催や図書委員会の活動等で読書活動に関心をもたせ思考力、読解力の向上を図る。  | A      | 2     | 1   | 図書室に近い1年生は比較的読書に親しむ率が高いが、全体的に教師による指導差が出ている。特に半数近い41%の教師が指導しなかったことは課題ととらえる。目標の12冊に達したの生徒は全体の1/5しかいなかった。7冊以上でやっと約半数の生徒のするなど、中学生の活字離れは課題。来年度は図書館司書による担任の読書指導の在り方や図書委員の活動を改善する。   | D |
| 豊かな心の育成  | ボランティア部や生徒会によるボランティアを推進すると共に地域ボランティアに積極的に参加させる。200人以上の生徒の参加を目指す。    |        |      | 11月現在、活動として生徒会による「緑の羽」募金活動、障害のある方々の絵の販売活動(予定)また、ボランティア活動として避難所設営訓練、東小夏まつり、文理台公園花火大会、住吉小ラジオ体操などで79名参加。今後は東小4年生と本校1年生による文理台公園清掃(125名参加)や東小冬まつり、本校校庭での「どんと焼き」のボランティア参加が予定されていた。1年生ではボランティア活発化のためにボランティアカードを配布して推進を促している。               | B      | 5     | 5   | 各ボランティア毎に募集しているが、同じ生徒の参加が多い現状がある。多くの生徒のボランティア参加を目指して1年生は東小4年生との文理台公園清掃活動を実施した。この成果もあり、参加人数は達成目標に達した。どのボランティアも参加した生徒の満足度は高い。(数値は作文等からの見取りで判断)ボランティアは自主的な参加活動として今後も継続して呼びかけし参加者を増やしていく。同時にボランティア参加の機会として東小との清掃活動は継続する予定である。 | A |
|          | 人権に関する授業、講演会等年間、10回以上実施する。  |        |      | 11月現在、講演会是人権課題「障害者」2回、弁護士によるいじめ防止として人権課題「子供」1回、人権課題「インターネットによる人権侵害」1回、人権課題「HIV感染者・ハンセン病患者等」2年生1回、授業では道徳(全学級)で人権宣言について2回、これを受けての生徒総会1回で合計8回の実施、3学期は研究授業1回(全学年)と認知症についての講演会(1年生)を予定している。  | A      | 5     | 5   | 東京都人権尊重教育推進校としての研究を通して様々な講演会、授業が実施できた。(29年1月18日の発表当日8学級で授業、発表前後で11の取組)生徒の人権感覚としての目標の数値は10月の生徒アンケートで判断。これらの取組を通して生徒の人権感覚が高まり、人に優しい生徒の実現や虐待、いじめの未然防止がすすんでいる。  | A |